

平成 28 年熊本地震における災害廃棄物の対応

熊本県益城町役場 住民保険課

平成 28 年 4 月 14 日午後 9 時 26 分、そして、同月 16 日午前 1 時 25 分。

短い間に二度も襲った震度 7 の激しい地震により、私たちが愛する益城町は一変しました。

人々の生活を守るはずの家屋の多くが倒壊し、投げ出された人々で避難所はあふれ、町内各所はゴミ・がれきが次から次へと発生して山積みとなり、速やかに処理しなければならぬ状態にありました。

益城町では、災害によってゴミ・がれきが大量に発生した経験が近年なかったため、当初の処理業務は暗中模索の様相を呈しました。益城町の災害廃棄物処理は、必ずしも百点満点ではなかったかもしれませんが、しかし、全国の自治体や団体の協力を得ながら、担当職員全員で、その時、その場面での最善の策は何かを必死に考えて対応してきたことは事実です。

そこで、私たちの経験・思いを「記録」という形で詳細に残すこととしました。この記録によって、益城町の中で経験を継承していくことはもちろんのこと、全国の自治体や関係機関の職員一人一人が災害廃棄物処理事業の実態を認識するきっかけとなり、他人事ではなく「自分事」として今後の災害対応に活用していただくことを自戒の念を込めて強く願います。

以下、参考文献

<https://www.town.mashiki.lg.jp/kiji0032321/index.html> (益城町災害廃棄物処理事業記録)